



令和 8 年
第 2 回定例会
一般質問

市政のここが聞きたい！

第 2 回定例会では 10 人の議員が登壇しました

・市民クラブ 武田 貞行 議員
・新緑風会 河合 清秀 議員
・日本共産党議員団 山田 靖廣 議員
・日本共産党議員団 上田 久司 議員

・市民クラブ 木村 光宏 議員
・公明党 猪口 満雅 議員
・民優会 坂井 照美 議員

・新緑風会 松本 一郎 議員
・市民クラブ 坂井 秋子 議員
・公明党 齊須 正友 議員

TOPICS

一般質問
審議結果 / 行政視察受入状況
所管事務調査 / 議場見学など
意見交換会
/ 全国市議会議長会表彰など

P2 ～ P3
P4 ～ P5
P6 ～ P7
P8

「くりさわ学舎 6 年生」と「いのきた」の 皆さんが市議会へ！

- ・くりさわ学舎 6 年生 13 名が岩見沢市議会へ。
子ども達と議員が自由に話す「議場 DE トーク」を実施。
- ・北村地域イノベーション推進協議会（いのきた）12 名の
皆さんと市議会との意見交換会を実施。

「市議会だより」カラー版はこちらから ➡





市民クラブ
武田貞行 議員



新たな水田農業政策と資材高騰について

Q 新たな水田活用の直接支払交付金制度の生産者の反応と国への要請について

A 令和9年度から導入する新たな水田政策の考え方や仕組みが示されたものの、支援単価や要件などの詳細な制度設計は今後の予定。生産者からは営農の見通しや輪作体系の維持を不安視する声を伺っている。今後も、生産者が安心して営農に取り組める制度となるよう、北海道市長会や農業関係団体などと連携し、必要に応じて国に要請する。

Q 世界情勢の不安定による資材高騰と農地整備事業への影響を踏まえ、国への補填対策の要請について

A 公共事業費が増嵩し、事業工期の長期化や事業量の縮減が懸念されている。本市では農業生産基盤の総合的な整備を推進しており、農地整備の重要性は高まっているものと認識している。今後も、予算の確保や必要な財政措置について、関係団体と連携し、引き続き国に要請する。



新緑風会
松本一郎 議員



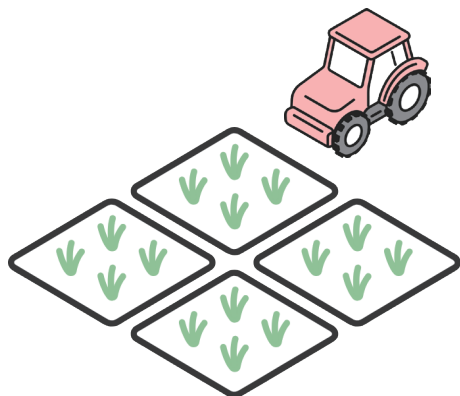
岩見沢市の広報・ブランド戦略について

Q 広報の目的の再定義と明確化、KPIによる広報の改善について

A 情報発信については、広報紙や市ホームページをはじめ、各種SNSやデジタルサイネージなど、それぞれの特性を活かし情報発信している。今後も媒体ごとの特性を活かし、KPIやアンケート結果を踏まえ、効果的な情報発信に努める。

Q ブランディング戦略、道の駅がないことによる課題と代替発信拠点整備及び市民と企業と共創した動画広報について

A ICTや子ども・子育て支援、健康づくりなどの強みを活かす延長線上にブランド化があると考えている。道の駅は、具体的な検討を進める状況になく、道の駅がないことで、ご指摘の課題があるとは考えていない。代替施設についても同様と考えており、既存施設やデジタルサイネージを活用したより効果的な情報発信に努める。また、動画広報については、既にYouTube等を活用しており、関係団体と連携しながら発信に努める。



市民クラブ
木村光宏 議員



移住定住施策について

Q 移住定住施策の成果と課題をどのように認識しているのか

A 総合戦略に基づきICT環境や子ども・子育て支援、交通アクセスなど地域の強みを活かしたまちづくりに取り組んできた。移住定住促進事業では、住宅購入支援助成により一定の成果を挙げ、社会動態も改善傾向が続き、令和5年には総合戦略のKPIを達成した。今後も様々な媒体を活用し、定住先として選ばれるよう努める。

Q 増加する空き家に対し、安価に住宅取得できる地域資源と捉え、移住・定住推進策に活用しては

A 新築住宅の建設費用の急激な上昇を背景として、中古住宅へのニーズは高まり、民間ベースの取引が活発に行われている。当市でも、空き家バンクの運営をはじめ、宅建協会と連携し、提供可能な住宅の情報共有と流通促進に努め、令和7年には、既存住宅の売買事例として400件以上を確認した。



新緑風会
河合清秀 議員



新病院建設工事のスライド条項について

Q 新病院建設工事で適用が見込まれるスライド条項の適用条件について

A スライド条項は、建設工事の契約後に賃金水準や資材価格が予想せず急激に変動し、請負代金額が不適当となった場合に、発注者と受注者が協議して契約金額を変更できる制度であり、新病院建設工事契約書においても同制度に係る条項を規定している。また、スライド条項は全体スライド、単品スライド、インフレスライドの3種類がある。

Q スライド条項適用により予想される建設費の上昇についてどの程度と予測しているか

A 契約後にコストが増加する場合、施工者からスライド方式に基づく請求が行われ、市では請負代金の変更額の協議を行う。現時点ではスライド条項に基づく請求はなく、具体的な影響額の試算は難しいが、増額変更しなければならない場合は可能な限り全体事業費の中で納まるよう、新病院建設工事以外の事業費の抑制を検討する。



公明党
猪口満雅 議員



中東情勢に伴う原油高・物価高の影響について

Q 公共工事における単品スライド条項の適用と商工金融円滑化事業について

A 公共工事においては、契約約款に単品スライド条項が含まれ、工事材料の価格が著しく変動した場合に請負代金の変更ができる。また、工事請負代金の支払いは「前払金」、「中間前払金または部分払い」を行い、最後に価格変動分も含め「完成払い」となっている。商工金融円滑化事業については、時限措置での利子補給や保証料補給の見直しについて、これまでの融資状況や金融機関との情報交換を踏まえると現時点で直ちに新たな措置を講じる状況にはないが、国の支援や市内事業者の実情に注視し検討する。

医療用ウィッグについて

Q 外見変化に伴う患者負担の軽減を目的とした医療用ウィッグの購入助成について

A 外見変化に伴うがん患者の苦痛を軽減するアピアンスケアは、国の第4期がん対策推進基本計画に盛り込まれているが、医療用ウィッグ等の販売は民間サービスの位置づけとされる。市としては、先行自治体の実情を参考に研究している。

市民クラブ
坂井秋子 議員

放課後児童クラブについて

Q 放課後児童クラブにおける支援ニーズの多様化への認識や人材確保の取組について

A 全て放課後児童クラブで国の基準を満たす職員の配置をする一方で、個々の特性や配慮が必要な児童への対応などにより、職員の負担が増加していることは認識している。また、児童数が多いクラブでは、運営に苦慮する場面もあり、有償ボランティア等も活用している。なお、退職等により欠員が生じた際は、速やかに求人を行うなど人材確保に努めている。

Q 放課後児童クラブにおける昼食提供の導入について

A 道内外の自治体で民間事業者や配食サービス等を活用した昼食提供については認識しており、保護者負担の軽減や子どもの食の確保は重要である一方、費用負担や提供方法、衛生管理などの課題もあるため、引き続き、現場の意見や保護者ニーズを把握し、他自治体の事例も参考に必要に応じて検討していく。

民優会
坂井照美 議員

熱中症対策としてのクーリングスポットの活用について

Q 町内会館のクーリングスポット活用及び電気代などランニングコストへの支援について

A 町会会館建築等補助金を活用したエアコン設置が増加しており、今年度は既に6件の申請を受け付け、4件の設置が完了している。町内会館が町会の皆様にとって暑さを避ける施設として活用されることを期待している。なお、電気代相当額などのランニングコストへの支援は考えていない。

高齢者等の生活困窮・生活不安に寄り添う支援と相談体制について

Q 高齢者等への支援策と家計改善支援事業について

A 少子化や人口減少、物価高騰により、高齢者のみならず生活に不安を抱える方が増えていると認識しており、市では給付金を支給するほか、生活サポートセンターりんくでや地域包括支援センターなどで相談支援に努めてきた。家計改善支援事業は家計再生プランの作成等により、早期の生活再生を目指した活動を行うもので、昨年度から実施し、11人が利用している。

日本共産党議員団
上田久司 議員

鳥獣被害対策について

Q 被害が増えている鳥獣・農作物別の状況と被害防止策について

A 令和7年度の鳥獣被害額は2,672万1千円で、前年度から1,004万2千円増加した。要因はアライグマ、鳥類、エゾシカによる被害の増加で、農作物別では水稲と果樹の2品目で全体の約6割を占める。対策としてエゾシカの一斉捕獲や生息調査、アライグマの捕獲従事者確保を実施。林業被害は少ないが、侵入防止柵等で対応する。

Q ヒグマ出没状況、箱わな設置箇所数や見回り等の対策、訓練の計画及び市民への周知について

A 今年度のヒグマ出没状況は、2件の目撃情報があるがいずれも痕跡等は確認されていない。対策として箱わな10基を設置し日常的な巡回も実施。本年度は新たに1基を導入し捕獲体制を強化する。訓練については関係機関と実施に向け協議中であり、市民への周知はホームページやSNS等を活用し引き続き啓発に努める。

日本共産党議員団
山田靖廣 議員

児童生徒の安全を守る対応について

Q 高校生への改正道路交通法の周知徹底について

A 自転車通学を許可する際に交通ルール遵守などの指導を行うとともに、自転車マナー教室や全校集会等を通じて周知に努めてきた。改正道路交通法の施行を受け、青切符制度等についても生徒への周知を行っている。今後も交通ルールの遵守や危険運転の防止について、継続して指導していく。

部活動の引率方法の課題について

Q 部活動の移動に伴う事故を踏まえた移動手段の実態の把握と今後の対策について

A 部活動等の移動は公共交通機関又は営業自動車の利用を原則とし、各学校で適切に運用されていると認識している。本年5月の事故を受け安全管理を徹底した。今後も生徒の安全確保を最優先に、適切な移動手段の確保を検討する。

公明党
斎須正友 議員

行政におけるデジタル化（DX）について

Q 本市でのスマートフォンを活用した地域DXの現状と課題について

A 当市では、市公式LINEや、すこやか健康手帳アプリなど、スマートフォンで利用できるサービスを提供している。市公式LINEでは行政情報の配信や情報取得、すこやか健康手帳アプリでは子育て相談や成長記録の共有などに活用されている。スマートフォンに不慣れな方に対しては、講習会などを通じて利用拡大を図る。

Q 今後の方向性について

A 今後の方向性については、市民の暮らしと地域の産業をデジタルで支える「岩見沢市DX推進計画」の策定を進めているところであり、新たな計画のもと、引き続き、誰もが利用しやすいデジタルサービスの創出などに取り組む。



令和8年第2回定例会（6月15日▶6月26日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について（岩見沢市税条例の一部改正）	承認
報告第2号	専決処分した事件の承認について（和解及び損害賠償の額の決定）	//
議案第38号	岩見沢市行政手続条例の一部改正について	原案可決
議案第39号	岩見沢市恩給条例の一部を改正する条例の一部改正について	//
議案第40号	岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	//
議案第41号	岩見沢市印鑑条例及び岩見沢市印鑑条例の一部を改正する条例の一部改正について	//
議案第42号	工事請負契約の締結について（中の橋修繕工事）	//
議案第43号	財産の取得について（GIGAスクール構想生徒用端末）	//
議案第44号	財産の取得について（ロータリ除雪車）	//
議案第45号	令和8年度岩見沢市一般会計補正予算について（第1号）	//
議案第46号	農業委員会の委員の任命について【尾田 憲朗 氏】	同意
議案第47号	農業委員会の委員の任命について【佐藤 佳恵 氏】	//
議案第48号	農業委員会の委員の任命について【引頭 一宏 氏】	//
議案第49号	農業委員会の委員の任命について【室永 雅人 氏】	//
議案第50号	農業委員会の委員の任命について【久保 智則 氏】	//
議案第51号	農業委員会の委員の任命について【谷 周平 氏】	//
議案第52号	農業委員会の委員の任命について【柳谷 貴紀 氏】	//
議案第53号	農業委員会の委員の任命について【小松 昭仁 氏】	//
議案第54号	農業委員会の委員の任命について【川合 正晃 氏】	//
議案第55号	農業委員会の委員の任命について【戸田 憲一郎 氏】	//
議案第56号	農業委員会の委員の任命について【東 秋徳 氏】	//
議案第57号	農業委員会の委員の任命について【細川 康行 氏】	//
議案第58号	農業委員会の委員の任命について【高嶋 佳代 氏】	//
議案第59号	農業委員会の委員の任命について【日笠 和良 氏】	//
議案第60号	農業委員会の委員の任命について【留木 剛 氏】	//
議案第61号	農業委員会の委員の任命について【近藤 良介 氏】	//
議案第62号	農業委員会の委員の任命について【瀧本 勝範 氏】	//
議案第63号	農業委員会の委員の任命について【川北 敏充 氏】	//
議案第64号	農業委員会の委員の任命について【澁谷 豊 氏】	//
議案第65号	農業委員会の委員の任命について【森田 孝洋 氏】	//
議案第66号	農業委員会の委員の任命について【木下 恵美 氏】	//
議案第67号	農業委員会の委員の任命について【松永 有平 氏】	//
議案第68号	農業委員会の委員の任命について【西川 里美 氏】	//
議案第69号	農業委員会の委員の任命について【高田 勝彦 氏】	//

議案番号	件名	審議結果
議案第70号	農業委員会の委員の任命について【松田 幸児 氏】	同意
議案第71号	農業委員会の委員の任命について【長井 孝之 氏】	//
議案第72号	農業委員会の委員の任命について【岩瀬 孝雄 氏】	//
議案第73号	農業委員会の委員の任命について【長森 睦 氏】	//
議案第74号	農業委員会の委員の任命について【籠島 英樹 氏】	//
議案第75号	農業委員会の委員の任命について【西村 昭寿 氏】	//
議案第76号	農業委員会の委員の任命について【平 義昭 氏】	//
議案第77号	農業委員会の委員の任命について【坂野 博之 氏】	//
議案第78号	農業委員会の委員の任命について【黒島 勝美 氏】	//
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について【山崎 優 氏】	//
意見書案第2号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化について	原案可決
意見書案第3号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育について	//
意見書案第4号	教育予算確保・拡充と就学保障の実現について	//
意見書案第5号	令和8年度北海道最低賃金改正等について	//
意見書案第6号	すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備について	//
意見書案第7号	住まいの安定と居住支援の抜本的強化について	//

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第2回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 地方自治体が自衛隊に住民基本台帳の個人情報を提供することに関する意見書について
- mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止を求める意見書について

令和7年度行政視察受入状況

7月2日 北海道留萌市議会

- 庁舎建替について（市役所本庁舎）

7月10日 北海道夕張市議会

- ごみ処理場について（環境クリーンプラザいわ☆ぴか）

7月17日 青森県黒石市議会

- 農業政策について（市役所本庁舎）

7月22日 北海道南幌町議会

- 議会のデジタル化について（市役所本庁舎）

7月23日 山形県山形市議会

- 除雪について（市役所本庁舎）

7月31日 青森県三沢市議会

- 議員定数と議員報酬について（市役所本庁舎）

8月18日 北海道美幌町議会

- 下水汚泥の有効活用について（市役所本庁舎）

8月22日 茨城県守谷市議会

- 生涯学習センター整備事業について
（生涯学習センターいわなび）

9月25日 福島県喜多方市議会

- 「栗沢クラインガルテン」の取組について
（栗沢クラインガルテン）

9月29日 北海道江別市議会

- 庁舎建替について（市役所本庁舎）

10月1日 佐賀県江北町議会

- 水稻の乾田直播栽培の取組について（市役所本庁舎）

11月18日 北海道美唄市議会

- 庁舎建替について（市役所本庁舎）

2月4日 大分県日田市議会

- 議会BCP、ペーパーレス議会、市民との意見交換会について
（市役所本庁舎）

全国から行政視察にお越しいただきました。

毎年5～6月、各常任委員会では所管する担当部署よりそれぞれの役割や今年度の取組等について説明を受け、質疑応答を行います。また、施設などの現地調査も実施します。実際に訪問することで新たな気づきもあり、今後の委員会活動に役立てています。以下、調査を行った項目を一部抜粋して掲載しています。



総務常任委員会

<教育委員会>

- ・ICT教育推進事業について

<企画財政部>

- ・生活交通確保対策事業について
- ・ふるさと応援寄附事業について



○現地調査

- ・岩見沢市立くりさわ学舎
- ・岩見沢市来夢21
- ・岩見沢市旧美流渡中学校交流館

民生常任委員会

<市立総合病院>

- ・病院経営について

<市民環境部>

- ・ごみ減量化について
- ・太陽光発電について



○現地調査

- ・岩見沢市立総合病院
- ・太陽光発電施設

経済建設常任委員会

<経済部>

- ・中心市街地活性化について
- ・中小企業振興基本条例について

<建設部>

- ・ばらのまちづくりについて

○現地調査

- ・いわみざわ公園バラ園



現地調査の様子

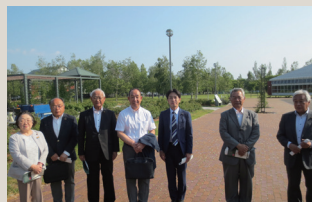


<総務常任委員会>

- ・岩見沢市旧美流渡中学校交流館

<民生常任委員会>

- ・岩見沢市立総合病院



<経済建設常任委員会>

- ・いわみざわ公園バラ園

政務活動費収支報告書を掲載しました！

令和7年度の「政務活動費」について、会派ごとの収支報告書を市議会ホームページに掲載しています。また、市役所本庁、北村支所、栗沢支所の情報公開コーナーでもご覧いただくことができます。



議会日誌

- 4月 9日 ・ 広報広聴委員会
17日 ・ 総務常任委員会 ・ 経済建設常任委員会
・ 議会運営委員会
28日 ・ 広報広聴委員会
30日 ・ 民生常任委員会
5月 8日 ・ 各派代表者会議
21日 ・ 総務常任委員会
25日 ・ 広報広聴委員会
26日 ・ 幹事長会議
6月 4日 ・ 経済建設常任委員会
5日 ・ 民生常任委員会
8日 ・ 各派代表者会議 ・ 意見交換会
12日 ・ 議会運営委員会
15日 ・ 各派代表者会議 ・ 第2回定例会（第1号）
・ 議員会役員会 ・ 林活議連役員会
・ 広報広聴委員会
19日 ・ 第2回定例会（第2号）
22日 ・ 第2回定例会（第3号）
23日 ・ 各派代表者会議 ・ 第2回定例会（第4号）
・ 議会運営委員会
24日 ・ 総務常任委員会 ・ 民生常任委員会
・ 経済建設常任委員会
25日 ・ 総務常任委員会
26日 ・ 議会運営委員会 ・ 第2回定例会（第5号）
・ 広報広聴委員会

議長のひとりごと

議長の峯泰教でございます。この度「議会かわら版」で議長として初めて議長コラムを執筆する機会を頂戴し「何がしかの文章を・・・」とのことでございます。何をお伝えすれば皆様の議会への興味や関心が高まるかなーと思いましたが私たち議員の任期も残すところ1年を切りましたので今思うことを少し書かせていただきます。

現在、議会では来年の選挙における議員定数を決めようとしております。人口減少が続く中での議員定数の在り方や、様々な年代、考えをお持ちの方々が議会に参画していただくために必要なことなど、議員定数等検討委員会で1年間検討してきた答申を基に、正副議長で協議し、案を示し、最終的に議案として上程し、議会で決定します。「議会が何をしているのか分からない」「議員は少なくてよい」など様々なご意見はありますが、その議員を選び、議員を監視するのは皆様、お一人おひとりの1票です。どうか「誰がやっても同じ」と諦めることなく皆様の一票を誰かに託してください。

議長 峯 泰 教

いのきたの皆さんと
意見交換会を実施しました！

6月8日（月）「北村地域イノベーション推進協議会（いのきた）」の12名（大人6名、高校生6名）の皆さんに市議会へお越し頂き、意見交換会を実施しました。岩見沢市議会では、今年度より広聴活動の一環として、団体との意見交換会

を実施することとし、1組目の実施となりました。

まず初めに市議会について説明。次に市議会活動の概要。そして「いのきた」の活動について代表者の方にご説明いただきました。その後、3グループに分かれ地域課題について意見交換を行いました。農業や観光、地域公共交通、子育てに関することなど、生活している中で身近に感じることにについて率直なお話が聞けました。また、北村地域をどのように盛り上げていくかなど、いのきたが今年チャレンジ予定の概要についても、沢山アイデアなどお話を聞かせて頂きました。「もう少し話したかった」「楽しかった」など感想を頂きました。今回頂いたご意見は今後の議会活動に活かして参ります。お忙しい中ご参加頂き誠にありがとうございました。



全国市議会議長会表彰



令和8年5月27日に開催された、「第102回全国市議会議長会定期総会」において、議員歴35年以上の功績により上田議員が特別表彰を、議員歴15年以上の功績により峯議長、豊岡副議長、山田議員が表彰を受けました。また、社会文

教委員会委員を務められた功績により峯議長が感謝状を頂きました。

市議会を傍聴してみませんか？



本会議や委員会では、私たちの生活に関わる大切なことを審議しています。是非一緒に考えてみませんか？傍聴をご希望の方は、開催日当日、市役所4階までお越しください。

会議日程や結果のお知らせ、本会議の様子をライブ配信、録画配信しています。是非、ご覧ください。

YouTube



Facebook

